

## 令和7年度地域福祉懇談会

満日地区 開催日時:令和7年7月5日(土)9時半~ 会場:旧満日小学校

[参加者]満日コミ協:菅井会長、杵鞭副会長、大田副会長(満願寺町内会長)、柳澤副会長(七日町町内会長)、小濱会計、杵鞭事務局長、教育・文化部 小檜山部長、環境・安全部 皆川部長、福祉・健康部 皆川部長、杵鞭副部長、小濱副部長、帆苅部員、高橋部員、山田部員(民生委員)、井上満願寺元町内会長、田中民生委員(老人クラブ会長)、帆苅老人クラブ会長、癒しの里連絡協議会:はさぎの里 鶴巻様、けやき福祉園 佐藤様、ぶどう工房 志田様、満日の里 桑野様 秋葉区社協:秋山事務局長補佐、米山、時田

地区別計画推進目標ごとに推進できそうなこと		地域の取組みをするまでの課題解決のためにできること
1 明るく元気な地域づくり	3 健康で豊かな地域づくり	1 隣近所の付き合いが希薄化し、住民同士の交流の機会が減っている ●付き合いの希薄化 ・隣の家が知らないうちに空き家になっていた ・隣近所で挨拶だけでもできるとよい ・町内で祭りを行い、そこでつながりを作りたい ・子ども達が旧満日小学校は地域の宝であると話していたため、有効に活用していきたい
①地域PTAと連携・協働し、地域全体で子ども達を見守り、育てる ●休日親子ふれあい広場 ・子どもを含めた地域が遊ぶことのできる場として、旧満日小学校を活用しながら継続する ・スクールバスのバス停にチラシをはったり、満日こども園にポスター掲示をしたりと周知を工夫し、多くの子どもの参加があった ・これ以上参加者が増えると運動できなくなるかもしれない ・幼児から中学生まで参加あり、満日以外の子も参加している ・以前参加した子どもが毎年来てくれているため人数が増えている ・子どもたちが飽きないよう内容を考えていきたい ・回数を増やしてほしいと意見あるが、スタッフが足りない ・地域の活性化につながる大事な取り組みであるため、老人クラブも協力していきたい ●子どもの居場所 ・満願寺で子どもの居場所を行っているが人数が少ないため検討が必要	①認知症や障がい者に対する偏見をなくし、正しい理解を持つ ●認知症 ・シルバー人材センターの方でも認知症のような方もいた ・ひきこもりや認知症予防のため、居場所づくりが大切	2 認知症や障がいについての理解が進んでいない
②元気な高齢者の力を活かす ●ふるさと健康講座 ・健康維持を進めていくため、講師を呼んで総踊り体操養成講座を受け、体操後体が軽くなつたという方もいた ・DVD鑑賞の機会を増やしたい ・参加人数が少ないのが課題 →参加者には4月に年間計画を渡していたが、毎回次の内容を小さい紙で渡すようにした スタンプカードを作り、参加回数によってプレゼントを渡すこととした ●老人クラブ ・楽しい老後、友達作り、高齢者を元気にすることが目標 ・高齢化と会員の減少により事業の継続に限界がある ・働いている方が多く、会員になりたがらない ・コミ協の取り組みは高齢者にとってよい取り組みが多い ・老人クラブでもコミ協の取り組みなど回覧を回している ・老人クラブとコミ協との連携について検討したい	②“癒しの福祉ゾーン”の施設の理解を深め、交流する ●文化祭 ・地域の団体、満日こども園、福祉施設などの作品を展示 ・2日間開催し、昨年は200名を超える来場者があり、地域に人を呼ぶ取り組みとなっている ・ぶどう工房のパン販売も行い、それを目当てに来られる方もいる ・展示だけでなくミニ喫茶を設け、地域の交流の場としていきたい ●施設との交流、連携 ・以前行っていた癒しの福祉ゾーンの夏祭りに多くの人が集まっていた ・はさぎの里で子ども対象のイベント開催予定で、地域の子どもにも参加してもらいたい ・はさぎの里に外国人労働者を入れようとしていて、居住先は七日町の空き家を活用する予定、勤務が休みであれば買い物支援と一緒にに行くこともあるかもしれない ・コロナも落ち着いてきたため、コミ協と施設で連携してイベント等検討できるとよい	3 認知症や障がいについての理解が進んでいない
2 安全で安心な地域づくり	4 相談しやすい体制づくり	地域の課題のためにできそうなこと
①災害から高齢者を守る ●交通安全教室(令和6年度) ・高齢者向けに行つた ・警察から詐欺の講話と満日地区で起きている事件等について話していただいたが、満日地区では問題は起きていないとのことだった ●防災 ・今年度力を入れていきたい ・初めて七日町と満願寺合同で避難訓練を実施できた ・避難場所となっている旧満日小学校の掃除を行つた ・防災についてはまだ決めることがたくさんある ・満願寺では個別避難計画を作成する予定	①困ったときに「助けて」と言える地域に! ●声かけ訪問 ・すぐに会えない方もいるが、1か月に1回会うと喜ばれている ・高齢者にとっては現状維持が大切なため、コミュニケーションを取りながらアドバイスをしている ・友愛訪問の対象の方で声かけ訪問の対象になっていない方もいるため検討が必要 →民生委員と訪問員の情報共有の場やふり返り会を行う ・見守りの対象者が亡くなり、人が集まる家だったが、そこに来ていた方たちが行く場所がなくなってしまい、サロンを紹介したが遠くて来れないとのこと →気軽に集まれる場所を探しているため、七日町の公会堂を無料開放するなどしてもよいのでは	●移動の課題 ・コミ協の取り組みはとてもよいが、高齢者は参加したくても移動手段がなく参加できない ・他のコミ協の事例等も参考にしていきたい
②コミ協主導で環境美化整備活動を実施する ●環境整備 ・癒しの福祉ゾーン周辺の藪が凄くなっているため、国要望を出し、環境が整えばイベント等を検討していきたい ・癒しの福祉ゾーンの看板の絵が経年劣化で見えなくなっているため、きれいにできないか ・あじさいロードの花壇をけやき福祉園が管理してくださっている	②ちょっとした困りごとを地域で解決したい ●買い物送迎支援 ・利用者は現在9名で皆さんとても感謝されているため継続して実施。 ・事業所の利用者も一緒に買い物できるとよい ・問題なくできているが、新しい変化も必要ではないか ・昨年は施設のお盆休みと重なってしまい、支援できない日があったが、今年は休みと重ならないため大丈夫だと思われる →年1回ふり返り会を開催予定(今年度は10月頃予定) ●毎年の取り組みの積み上げで、コミ協と他の団体との横のつながりができてきた	